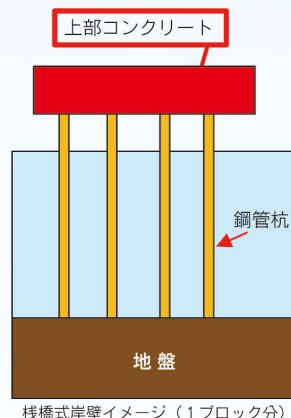


## 岸壁をリニューアルします！！

金磯地区の岸壁（水深11m）は、原木の取扱いや近頃話題の大型クルーズ船の寄港等に利用されております。一方で、当該岸壁は供用開始から約45年経過していることから、栈橋式岸壁の上部コンクリートが劣化し、表面にひび割れや下面に鉄筋が露出した箇所が見られる状態でした。そこで、新しい岸壁を作るのではなく、古い岸壁に手を加えて延命化を図り、活用するための工事を、平成28年度から実施中です。

工事内容は、既設の劣化した上部コンクリートを全て取り除き、新しくコンクリートを打設してリニューアルするもので、既に全20ブロック中5ブロックは施工済みです。

本工事では、既設の上部コンクリートを撤去した後、足場の組み立てや鉄筋加工組み立て等の作業を海上で行うため、品質の確保と安全に細心の注意を払い工事を進めています。



### 【主な工事の流れ】



## 徳島小松島港津田地区の更なる活性化に向けて

執筆者 徳島県運輸政策課

徳島県では、徳島小松島港津田地区において、とくしま回帰の先進地として再生し、本県が飛躍的な発展を遂げるための「徳島小松島港津田地区活性化計画」を平成28年3月に策定し、平成29年度から水面貯木場13.8haの埋立工事を実施しています。

この埋立が平成31年度に概成することから、今般の徳島小松島港津田地区を取り巻く状況の変化等を適切に反映させた「徳島小松島港津田地区活性化推進計画」の策定や分譲計画を作成するため、学識経験者・地元関係者等からなる「徳島小松島港津田地区活性化計画推進委員会」を平成30年8月に設置し、これまで委員会を2回開催し、検討を進めています。

引き続き、委員の皆様にご活躍な議論をしていただき、活性化推進計画や分譲計画等を取りまとめ、今後の津田地区の更なる活性化に繋げてまいります。



埋立工事が進む水面貯木場  
（平成31年1月）



第1回委員会の様子  
（平成30年8月）